

活動名	やってみっぺよ地域づくり「高齢者見守り隊」始動！！
要旨	「地域の課題は地域で解決する」を基本に、地域コミュニティ再生に向けた取組みを地域包括の主導で開始。地域ニーズと市の保健福祉計画をすり合わせ、地域の課題解決の取組みとして高齢者見守り隊が立上がり、活動も住民主導へシフトしている。
応募者	福島県いわき市平地域包括支援センター 吉野 優子
連絡先	〒970-8686 福島県いわき市平字梅本 21 市役所本庁舎内

(概要)

<はじめに>

いわき市は、福島県の浜通り南部に位置し面積約1231km²、平成21年6月1日現在で人口351,414人、高齢化率24.07%の中核市です。平成18年4月、いわき市直営で7ヶ所の包括支援センターが誕生。翌年4月、非営利活動法人「地域福祉ネットワークいわき」が設立。いわき市から包括支援センター業務の委託を受け、直営7ヶ所での運営をそのまま引継いで業務展開しています。包括支援センターは「地域包括支援体制」の実現を目指した機能を有する機関でもあります。当平窪地区包括支援センター管内での、住民・包括支援センター・社会福祉協議会・行政による「高齢者が安心して住みなれた地域で暮らしつづけるための地域コミュニティづくり」の取り組みを紹介します。

<いわき市平下平窪地区高齢者見守り隊発足までの経過>

平窪地区 地域ケア会議開催：平成20年3月25日～平成21年2月18日

目的 - 「地域の課題は地域で解決する」ことを基本に、地域における課題を協議し住民自らが解決に向けて取り組みことができることを目指し、地域におけるケアシステムをつくる。

見守りネットワークの関心が高く、ネットワーク構築に向けて具体的に協議を進めることで合意。

あんしん見守りネットワーク活動事業（高齢者見守り隊）発足に向けての協議：平成21年7月9日～9月9日 活動開始に向け、活動内容等確認 地区回覧による「協力員募集」

結団式開催：見守り隊協力員バッチ等の交付 意識啓発を目的に「認知症サポーター講座」実施
<活動の成果>

今まで市の中でも、高齢者の暮らしを考えるためのアンケート調査や地域福祉懇談会等を開催し様々な意見の集約をしてきたが課題解決に向けた具体的な取組の実現までには至らなかった。地域コミュニティ再生に向けた取組を、当初包括支援センター主導で開始し、行政の動きを視野に「地域ニーズといわき市第5次保健福祉計画」をうまくマッチングできたことで活動の第一歩を踏みだせた。現在は地域住民が活動の主体となり、包括支援センター・行政が側面的支援を行っている。

<おわりに>

コミュニティ崩壊が叫ばれているが、地域でなければ見えないニーズがある。身近な人達の「声かけ見守り」から早期に要援護高齢者の発見ができ、早期対応ができることで介護予防が可能となる。今回、当包括支援センターは地域コミュニティ再生に向けてのコンセプトを 地域を動かす起爆剤となる 地域が持つ力を見抜く 地域に出向き、人と人、人と機関をつなぐことの3点を念頭に置き、地域活動を展開してきた。高齢者見守り隊はスタートしたばかり、この活動が下平窪地区に住んでいる方々に広く浸透しご近所同士の声かけ見守りが自然にできる。更には、昔ながらの「結い」のようなちょっとした支え合いができる活動へと展開していけることを目指したい。